

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

令和 8 年 4 月 2 3 日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は 6 年生で、国語、算数の 2 教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国語	6 0 . 9 %			○		
算数	5 6 . 4 %					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8%					○
情報の扱い方に関する事項	52.3%	○				
話すこと・聞くこと	65.8%					○
書くこと	45.7%	○				
読むこと	65.9%					○

【考 察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、漢字を文の中で正しく使うことができています。家庭学習や学期末に実施している漢字オリンピックの取り組みの成果です。今後も、文章の中で適切に漢字を使うことができるように意識して指導していきます。
- 「書くこと」の領域では、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる問題で課題が見られました。文章を読む際に、接続詞に着目し、文章がどのように展開しているのか考えさせたり、各段落の役割を意識しながら読む習慣をつけたりすることで、文章全体の構成を正しく読み取れるように指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	61.1%				○	
図 形	55.3%					○
測 定	78.1%					○
変化と関係	41.1%	○				
データの活用	48.6%				○	

【考 察】

- 全国平均を上回った領域が多く、学習内容の定着が見られました。普段の授業の中で、自分の考えを図や式に表して友達に説明する活動や、学期ごとに行っている「算数オリンピック」の取り組みの成果が表れています。
- 「変化と関係」の領域では、ペンギンがいる二つの広場のどちらが混んでいるのかを問う問題で課題が見られました。身近な生活と結びつけ条件を整理して考えることで、求められた単位量あたりの大きさを基に「どちらが混んでいるのか」「どちらが速いのか」など、場面に応じて適切に判断できる力を育成していきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	28.7	50.7	17.1	2.7
6	小野田小	44.4	33.3	22.2	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 授業の中で、友達と協力して課題を解決したり、教師に質問したりするなど工夫しながら学習に取り組むことができています。できていないと感じている児童にはどのような方法があるか提示したり、個別に声をかけたりして支援していきます。
- 子ども達自身が新たな課題を見つけようとしたり、より詳しく知りたいという意欲を高めたりすることができるように、日々の授業を工夫、改善していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7
6	小野田小	0.0	0.0	55.6	44.4	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 約半数の児童が、目標としている70分（学年×10分+10分）の学習に取り組んでいます。一方で、学年の目標時間に達していない児童も半数います。家庭学習の取り組み方を指導し、家庭での学習習慣が身につくように支援していきます。
- 「パワーアップカード」をもとに、家庭学習の計画の立て方についてアドバイスをしたり、「校内ノート展」でよい自主学習の取り組みをしている児童の学習内容を紹介したりしながら、家庭学習の質の向上を図っていきます。

- 3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	3 1. 4	4 7. 0	1 7. 2	3. 4
6	小野田小	4 4. 4	5 5. 6	0. 0	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 全ての児童が学習した内容を見直し、次の学習につなげようとしていることが分かります。学習内容は全て学びの連続であり、前の学習を生かして新たな学びにつながっていくことがほとんどです。学習内容を整理し、分かった点やよく分からなかった点、さらに詳しく知りたいことなどをまとめられるようにしていきます。
- 学習内容を確実に定着させるために「分かる授業」づくりのために全職員で研究を推進し、授業の改善を図っていきます。

- 4 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	3 5. 0	4 5. 8	1 4. 5	3. 1
6	小野田小	6 6. 7	2 2. 2	1 1. 1	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 全国平均を大きく上回る結果となり、多くの児童が授業で学んだことを次の学習や実生活と結び付けながら学んでいることが分かりました。これは、これまでの授業において、既習事項を生かして課題を解決したり、自分の考えを友達と伝え合ったりする学習を積み重ねてきた成果であると考えられます。
- 今後も、算数科を中心に、学んだことを次の学習や実生活に生かすことができる授業づくりを進めていきます。また、自ら課題を見だし、学び方を工夫しながら探究的に学ぶことができる児童の育成に努めてまいります。